

研究発表プログラム

第1日目 7月20日(土)

- 9:00～ 開場(受付開始)
- 9:15～ ポスター(◆ P001～066) 掲示作業
- 10:00～10:15 開会挨拶 第35回大会実行委員長 三浦定俊

(○印は当日発表者)

セッション1

座長：秋山純子(九州国立博物館)、呂 俊民(東京文化財研究所)

- 10:15～10:30 低酸素環境維持機能を持つミイラ展示用ケースの開発
○神庭信幸(東京国立博物館)、和田 浩(東京国立博物館)、矢野賀一(東京国立博物館)、
吉川辰美(MUSIサイエンス)、久保 知(グラスバウハーンジャパン)、
佐藤孝典(アイディールブレン)
- 10:30～10:45 並河靖之七宝記念館にみる文化財施設におけるの館蔵品及び施設の保存、管理、
公開について
○武藤夕佳里(京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター)
- 10:45～11:00 複合的保存修復活動による地域文化遺産の保存と地域文化力の向上システムの研究
○岡田 靖(東北芸術工科大学)、米村祥央(東北芸術工科大学)、長坂一郎(東北芸術工科大学)、
半田正博(東北芸術工科大学)、北野博司(東北芸術工科大学)、大山龍顕(東北芸術工科大学)、
大場詩野子(東北芸術工科大学)、長田城治(東北芸術工科大学)
- 11:00～11:15 大エジプト博物館保存修復センター(GEM-CC)における人材育成を目的とした国際協力
プロジェクト(Ⅱ)
○松田泰典(東京文化財研究所・JICA 専門家)、山内和也(東京文化財研究所)、
末森 薫(JICA 専門家)
- 11:15～11:20 5分休憩

セッション2

座長：姜 大一(韓国伝統文化大学校)、岡田 健(東京文化財研究所)

- 11:20～11:35 ペルー、マチュピチュ遺跡の保存修復〔Ⅱ〕
—太陽の神殿遺構の劣化と保存修復に関する調査および実験施工—
○西浦忠輝(国士舘大学)、藤田晴啓(新潟国際情報大学)、小野 勇(国士舘大学)、
海老澤孝雄((株)ざ・エトス)、伊藤淳志(関西大学)、柴田英明(国士舘大学)、
沢田正昭(国士舘大学)、カルロス・カノー(クスコ美術大学)、
フェルナンド・アステータ(ペルー文化省)、チャンピ・モンテルロソ(ペルー文化省)
- 11:35～11:50 山形県指定文化財 長井市普門坊 木造馬頭観音立像の保存修理
—————震災被害を免れた仏像の修理と安置改善の一事例—————
○牧野隆夫(吉備文化財修復所)、渡邊真吾((有)東北古典彫刻修復研究所)、
佐藤健彦(吉備文化財修復所)、西巻彩子(吉備文化財修復所)、
古賀路子(吉備文化財修復所)、足立収一((有)東北古典彫刻修復研究所)
- 11:50～13:00 昼休憩
- 13:00～14:00 ポスターセッション

セッション3

座長：中村力也（宮内庁正倉院事務所）、吉田直人（東京文化財研究所）

- 14:00～14:15 文化財塗装物の赤外分光法を中心とした分析
○小川俊夫（金沢工業大学）、高山修平（金沢工業大学）、佐藤雄紀（金沢工業大学）、
香川健太郎（金沢工業大学）、佐藤則武（（財）日光社寺文化財保存会）
- 14:15～14:30 伝統建築物における漆塗り工程調査
○下出祐太郎（京都美術工芸大学）、遠藤淳司（京都工芸繊維大学大学院）、
成田智恵子（京都工芸繊維大学大学院）、近藤香菜（下出蒔絵司所）
- 14:30～14:45 浦添市美術館所蔵 黒漆楼閣山水螺鈿印籠の保存修復作業で判明した材質と構造について
○大西智洋（目白漆芸文化財研究所）、室瀬和美（目白漆芸文化財研究所）、
宮里正子（浦添市美術館）、鳥越俊行（九州国立博物館）、今津節生（九州国立博物館）
- 14:45～15:00 15分休憩

セッション4

座長：新田建史（静岡県立美術館）、米村祥央（東北芸術工科大学）

- 15:00～15:15 旧加賀藩上屋敷に降灰した富士火山1707年噴火（宝永噴火）火山灰の保存・活用と
火山灰発見の意義
○原 祐一（東京大学埋蔵文化財調査室）、堀内秀樹（東京大学埋蔵文化財調査室）、
小松愛子（東京大学埋蔵文化財調査室）、藤井敏嗣（NPO 法人環境防災総合政策研究機構）
- 15:15～15:30 津波被災した紙質文化財等から分離した微生物の諸性質
○佐藤嘉則（東京文化財研究所）、木川りか（東京文化財研究所）、青木 睦（国文学研究資料館）、
赤沼英男（岩手県立博物館）、大林賢太郎（京都造形芸術大学）
- 15:30～15:45 東日本大震災で被災した民俗資料の脱塩に関する一考察
○日高真吾（国立民族学博物館）、園田直子（国立民族学博物館）、和高智美（文化創造巧芸）、
河村友佳子（（財）元興寺文化財研究所）、橋本沙知（（財）元興寺文化財研究所）、
小谷竜介（宮城県教育委員会）
- 15:45～16:00 陸前高田市立博物館における一時保管環境の改善過程
○和田 浩（東京国立博物館）、神庭信幸（東京国立博物館）、本多文人（陸前高田市立博物館）、
熊谷 賢（陸前高田市立博物館）、赤沼英男（岩手県立博物館）
- 16:00～16:15 津波により被災した博物館と資料の空気質調査（2）
～石巻文化センターとその資料の17か月後～
○松井敏也（筑波大学）、及川 規（東北歴史博物館）、河崎衣美（筑波大学）、
増田竜司（日本無機株式会社）、中島文男（日本無機株式会社）、新沼 仁（日本無機株式会社）、
芳賀英実（石巻市教育委員会）、佐々木淳（石巻市教育委員会）
- 16:15～16:30 15分休憩

特別講演

- 16:30～17:30 災害が進めた学際連携—文化財を未来へ—
平川 新（東北大学災害科学国際研究所所長）

15:00～17:45 ポスター撤去作業

18:00～20:00 懇親会

第2日目 7月21日(日)

- 9:00～ 開場(受付開始)
9:15～ ポスター(◇ P067～130) 掲示作業

セッション5

座長：園田直子(国立民族学博物館)、鈴木晴彦(東京国立博物館)

- 9:30～9:45 経年劣化紙資料の加速劣化試験：チューブ法における物性の劣化速度と pH、有機酸量及び酸化度の変化
○李 堉(東京藝術大学)、稲葉政満(東京藝術大学)
- 9:45～10:00 絵画修理に用いる膠に関する考察
○岡 泰央(株式会社岡墨光堂)、小笠原具子(株式会社岡墨光堂)、早川典子(東京文化財研究所)、富沢千砂子(六法美術)
- 10:00～10:15 老化を利用した小麦デンプン糊の接着力調整に関する研究
○早川典子(東京文化財研究所)、君嶋隆幸(株式会社修護)、畠中芳郎(地方独立行政法人大阪市立工業研究所)
- 10:15～10:20 5分休憩

セッション6

座長：松田泰典(東京文化財研究所)、深津裕子(多摩美術大学)

- 10:20～10:35 真珠の劣化現象について
小松 博(株式会社真珠科学研究所)、坂本 昭(株式会社真珠科学研究所)、矢崎純子(株式会社真珠科学研究所)、河村揚一(株式会社真珠科学研究所)、○佐藤昌弘(株式会社真珠科学研究所)
- 10:35～10:50 古代ローマ時代のコンクリートの化学的評価
○沢木大介((株)太平洋コンサルタント)、久田 真(東北大学大学院)、坂井悦郎(東京工業大学大学院)
- 10:50～11:05 黄檗の成分分析による産地同定法を用いた文化財染織品の日中間の流通に関する一考察
○佐々木良子(京都工芸繊維大学)、藤井健三(京都工芸繊維大学)、佐々木健(京都工芸繊維大学)
- 11:05～11:20 古代染料の HPLC 分析における前処理条件の検討
○中村力也(宮内庁正倉院事務所)、成瀬正和(宮内庁正倉院事務所)
- 11:20～11:30 休憩
- 11:30～12:30 総会
- 12:30～13:30 昼休み
- 13:30～14:30 ポスターセッション

セッション7

座長：齋藤 努(国立歴史民俗博物館)、谷口陽子(筑波大学)

- 14:30～14:45 テラヘルツ波および核磁気共鳴法による壁画の構造調査
○福永 香(情報通信研究機構)、Wasif Zia(Aachen University)、Tyler Meldrum(Aachen University)、Bernhard Bluemich(Aachen University)、高妻洋成(奈良文化財研究所)
- 14:45～15:00 MALDI 質量分析法による膠の原料動物種の同定
○河原一樹(奈良女子大学)、宮路淳子(奈良女子大学)、松尾良樹(奈良女子大学)、館野和己(奈良女子大学)、中沢 隆(奈良女子大学)

- 15:00～15:15 群馬県立歴史博物館保管、(宗) 満福寺所蔵「泰西王侯図」2幅の描画技法
○武田恵理 (文化財保存修復スタジオ)、浅野ひとみ (長崎純心大学)、作間美智子 (東京藝術大学)、西川竜司 (東京藝術大学)、高林弘実 (京都市立芸術大学)
- 15:15～15:30 朱が使用された壁画彩色の劣化—敦煌莫高窟第285窟の天井に描かれた雲気文の保存状態—
○高林弘実 (京都市立芸術大学)、犬塚将英 (東京文化財研究所)、孫 勝利 (敦煌研究院)、張 文元 (敦煌研究院)、崔 強 (敦煌研究院)、渡辺真樹子 (東京文化財研究所)、岡田 健 (東京文化財研究所)
- 15:30 閉会挨拶 第35回大会副実行委員長 森田 稔
ポスター撤去作業

ポスターセッション

第1日目 7月20日(土)

(○印は当日発表者)

- ◆ P001 古代ローマ都市遺跡の列柱道路の保存修復に関する研究〔V〕—実際の保存修復作業(3)—
○小野 勇 (国士舘大学)、松本 健 (国士舘大学)、西浦忠輝 (国士舘大学)
- ◆ P002 アルメニア歴史博物館における鉄器時代に製作された銅合金製資料の科学的調査
○藤澤 明 (東京文化財研究所)、有村 誠 (東京文化財研究所)、邊牟木尚美 (東京文化財研究所)、山内和也 (東京文化財研究所)、Anelka GRIGORYAN (アルメニア歴史博物館)
- ◆ P003 アルメニア歴史博物館における銅合金製考古資料の保存修復に関する人材育成・技術移転
○邊牟木尚美 (東京文化財研究所)、藤澤 明 (東京文化財研究所)、有村 誠 (東京文化財研究所)、山内和也 (東京文化財研究所)、鈴木 稔 (帝京大学大学院)、鈴木恵梨子 (保存修復家)、Anelka GRIGORYAN (アルメニア歴史博物館)
- ◆ P004 タジキスタン国立古代博物館におけるフルブック遺跡出土壁画断片の保存修復—壁画断片群の状態と安定化のための処置—
山内和也 (東京文化財研究所)、島津美子 (東京文化財研究所)、増田久美 (増田絵画修復工房)、松岡秋子 (元東京文化財研究所)、渡抜由季 (元東京文化財研究所)、○杉原朱美 (東京文化財研究所)
- ◆ P005 RTI (Reflectance Transformation Imaging) 技術による「19世紀初頭イタリアの古地図」のドキュメンテーション
小野慎之介 (東洋美術学校)、○松田泰典 (東洋美術学校)
- ◆ P006 「19世紀初頭イタリアの古地図」に関する保存修復報告～教育機関における修復実習の一事例～
小野慎之介 (東洋美術学校)、米陀あやこ (東洋美術学校)、○松田泰典 (東洋美術学校)、高鳥浩介 (NPO 法人カピ相談センター)
- ◆ P007 中部ルーマニアにおける正教会修道院附属病院教会堂の壁画に関する研究
木島隆康 (東京藝術大学)、○日高 翠 (東京藝術大学大学院)
- ◆ P008 アジャンター仏教寺院遺跡・第2窟壁画におけるワニスクリーニングの試み
○島津美子 (東京文化財研究所)、鈴木 環 (東京文化財研究所)、樋上将之 (絵画修復家)、杉原朱美 (東京文化財研究所)、ステファニー・ボガン (壁画修復家)、山内和也 (東京文化財研究所)
- ◆ P009 ハギア・ソフィア大聖堂モザイクの金・銀テッセラの劣化
○佐々木淑美 (日本学術振興会)、吉田直人 (東京文化財研究所)、日高健一郎 (筑波大学)
- ◆ P010 水損した塗工紙をどう対処するか
～塗工紙の固着に関する考察と現場での具体的な対応～
○佐々木紫乃 (東京都立中央図書館)、真野節雄 (東京都立中央図書館)

- ◆ P011 東京藝術大学保存修復油画研究室平成24年度保存処置報告
—石巻文化センター所蔵東北地方太平洋沖地震被災作品の保存処置—
○浅場沙帆（東京藝術大学）、木島隆康（東京藝術大学）、森田愛香（国立歴史民俗博物館）、
古賀路子（吉備文化財修復所）、渡抜由季（福岡市美術館）、杉原朱美（東京藝術大学）、
鈴木恵梨子、渡邊真樹子（東京文化財研究所）、田中眞奈子（東京藝術大学）
- ◆ P012 静岡県文化財等救済ネットワークの試みについて
柴 雅房（静岡県教育委員会）、○新田建史（静岡県立美術館）
- ◆ P013 倒壊防止を目的とした被災仏像の処置事例報告
～当時の状況と所有者意識の変化を踏まえて～
牧野隆夫（（有）東北古典彫刻修復研究所）、○渡邊真吾（（有）東北古典彫刻修復研究所）、
足立収一（（有）東北古典彫刻修復研究所）
- ◆ P014 防黴剤 JE-120液の水損写真に対する効果と影響
○白岩洋子（紙本・写真修復家）、山口孝子（東京都写真美術館）、新井英夫（東京文化財研究所）、
小谷野匡子（絵画保存研究所）、大川美香（絵画保存研究所）
- ◆ P015 津波等海水に浸水した紙資料のスクウェルチ・ドライイング法
—処理後の塩分残留量の調査結果について—
○小野寺裕子（東京文化財研究所）、古田嶋智子（東京文化財研究所）、木川りか（東京文化財研究所）、
佐藤嘉則（東京文化財研究所）、稲葉政満（東京藝術大学）
- ◆ P016 東日本大震災による被災民俗文化財の一時保管場所の環境について
○日高真吾（国立民族学博物館）、園田直子（国立民族学博物館）、和高智美（文化創造巧芸）、
河村友佳子（（財）元興寺文化財研究所）、橋本沙知（（財）元興寺文化財研究所）、
小谷竜介（宮城県教育委員会）、幡野寛治（気仙沼市教育委員会）、
村上市教育委員会生涯学習課文化行政推進室
- ◆ P017 石巻文化センター被災文化財一時保管場所の温湿度環境について
○森井順之（東京文化財研究所）、犬塚将英（東京文化財研究所）、岡田 健（東京文化財研究所）、
及川 規（東北歴史博物館）、木暮 亮（石巻市教育委員会）、芳賀英実（石巻市教育委員会）、
小谷竜介（宮城県教育委員会）
- ◆ P018 被災文化財等救援活動における資料保存処置トリアージの重要性
○鈴木晴彦（東京国立博物館）、神庭信幸（東京国立博物館）、和田 浩（東京国立博物館）
- ◆ P019 被災文化財等救援活動における人材育成
○神庭信幸（東京国立博物館）、八木三香（文化財保存支援機構）、本多文人（陸前高田市立博物館）、
熊谷 賢（陸前高田市立博物館）、赤沼英男（岩手県立博物館）
- ◆ P020 被災文化財等救援活動における保存修理—東京国立博物館修理室の油彩画等保存修理活動—
○土屋裕子（東京国立博物館）、神庭信幸（東京国立博物館）、鈴木晴彦（東京国立博物館）、
米倉乙世（東京国立博物館）、平河智恵（東京国立博物館）、小川絢子（東京国立博物館）、三浦知佳、
池上久美、宋 亨蘭
- ◆ P021 セルロースの分子量分布へ超音波処理の影響
新田 香（東京藝術大学）、貴田啓子（東京藝術大学）、赤沼英男（岩手県立博物館）、
○稲葉政満（東京藝術大学）
- ◆ P022 水害被災した紙の生物劣化を防ぐ塩水保存法—塩水-紙の相互作用と脱塩技術—
ブンヤピパットタンチラ（筑波大学）、○江前敏晴（筑波大学）
- ◆ P023 大津波被災文書の乾燥経過観察と紙質分析
○青木 睦（国文学研究資料館）、広瀬真紀（学習院大学大学院）、林 貴史（埼玉県白岡市文化財保護委員）

- ◆ P024 東日本大震災被災資料レスキューに関する東北芸術工科大学の取組み (1)
— 扁額・屏風の応急処置と学生教育—
○三浦功美子 (東北芸術工科大学)、半田正博 (東北芸術工科大学)、大山龍顕 (東北芸術工科大学)、
棚橋美沙希 (東北芸術工科大学)、伊藤有紀 (東北芸術工科大学)、土屋香奈 (東北芸術工科大学)、
菅野美旬 (東北芸術工科大学)、半澤あかり (東北芸術工科大学)
- ◆ P025 東日本大震災被災文化財レスキューに関する東北芸術工科大学の取組み (2)
— 被災立体美術作品の応急処置と学生教育—
○藤原 徹 (東北芸術工科大学)、宮城加奈子 (東北芸術工科大学)、石井紀子 (東北芸術工科大学)、
藤田まり子 (東北芸術工科大学)、大谷純奈 (東北芸術工科大学)
- ◆ P026 東日本大震災被災資料レスキューに関する東北芸術工科大学の取組み (3)
— 図書資料の応急処置と学生教育—
○米村祥央 (東北芸術工科大学)、山内れい (東北芸術工科大学)、村上花恵 (東北芸術工科大学)、
小林貴宏 (高崎市教育委員会)、山形文化遺産防災ネットワーク・ワーキンググループ
- ◆ P027 被災した行政文書を想定した浸漬時間による水分特性の相違
○林美木子 (東京文化財研究所)、佐藤嘉則 (東京文化財研究所)、木川りか (東京文化財研究所)、
佐野千絵 (東京文化財研究所)
- ◆ P028 被災現場における緊急避難措置としての脱酸素処理法の評価 (Ⅱ)
～紙資料に対する糸状菌の活動抑制効果～
○杉山智昭 (北海道開拓記念館)、小林幸雄 (北海道開拓記念館)、魚島純一 (奈良大学)
- ◆ P029 ミュージアム IPM の実践と課題
○本田光子 (九州国立博物館)、森田 稔 (九州国立博物館)、三輪嘉六 (九州国立博物館)
- ◆ P030 東京大学工学部武田先端知ビル地点検出の方形周溝墓の保存 保存資料をどのように展示・活用するか
○原 祐一 (東京大学埋蔵文化財調査室)、石原道知 (武蔵野文化財修復研究所)、堀江武史 (府中工房)
- ◆ P031 文化財保存環境での付着菌調査方法の比較検討
○齊藤 智 ((株)竹中工務店)、呂 俊民 (東京文化財研究所)、内呂博之 (ポーラ美術館)、
荒屋鋪透 (ポーラ美術館)
- ◆ P032 展示ケース内有機酸量の季節変化と吸着シートによる対策の事例
○佐野千絵 (東京文化財研究所)、古田嶋智子 (東京文化財研究所)、呂 俊民 (東京文化財研究所)
- ◆ P033 省エネに配慮した持続的な空調管理に向けて—国立民族学博物館の事例から—
園田直子 (国立民族学博物館)、日高真吾 (国立民族学博物館)、○河村友佳子 ((財)元興寺文化財研究所)
- ◆ P034 展示ケース内有機酸濃度のギ酸・酢酸比
○呂 俊民 (東京文化財研究所)、古田嶋智子 (東京文化財研究所)、佐野千絵 (東京文化財研究所)
- ◆ P035 文化財展示収蔵施設に用いられる内装材料の空気質への影響その3 コーキング材からの放散ガス
○古田嶋智子 (東京文化財研究所)、呂 俊民 (東京文化財研究所)、林 良典 ((株)岡村製作所)、
佐野千絵 (東京文化財研究所)
- ◆ P036 金属片による展示収蔵環境の火山ガス対策の監視その2
○天野健太郎 ((株)竹中工務店)、石黒 武 ((株)竹中工務店)、内呂博之 (ポーラ美術館)、
荒屋鋪透 (ポーラ美術館)、呂 俊民 (東京文化財研究所)
- ◆ P037 国指定重要文化財「綸子地著色聖体秘蹟図指物」展示環境の改善について
○松本博幸 (天草市立天草キリシタン館)、池田朋生 (熊本県立装飾古墳館)、
坂口圭太郎 (熊本県立装飾古墳館)、佐野千絵 (東京文化財研究所)

- ◆ P038 静岡県立美術館における低酸素濃度殺虫処理の実施と今後の課題について
○新田建史(静岡県立美術館)
- ◆ P039 作品に安全な展示方法の新案②ーミニチュールの展示方法を例としてー
○米倉乙世(東京国立博物館)、鈴木晴彦(東京国立博物館)、バレリー・リー(東洋画保存修復技術者)、土屋裕子(東京国立博物館)、神庭信幸(東京国立博物館)
- ◆ P040 コンター図を用いた虫害管理ーポーラ美術館の IPM
○宮田弘樹((株)竹中工務店)、北野雅人((株)竹中工務店)、呂 俊民(東京文化財研究所)、内呂博之(ポーラ美術館)、荒屋鋪透(ポーラ美術館)
- ◆ P041 太宰府市文化ふれあい館の IPM の取り組み
○下川可容子((株)タクト)、樋口ゆかり((株)タクト)、小島理美((株)タクト)、森田レイ子((株)タクト)、井上信正(太宰府市教育委員会)、井上理香(太宰府市文化ふれあい館)、本田光子(九州国立博物館)
- ◆ P042 アルゴンガスを用いた低酸素殺虫法のアクリル絵具に及ぼす影響の検討
○塚田全彦(メトロポリタン美術館)、小谷野匡子((株)絵画保存研究所)、大川美香((株)絵画保存研究所)
- ◆ P043 高演色性と低損傷性を兼ね備えた LED 照明の開発と評価
○八木一乃大(シーシーエス(株))、問屋昌弘(シーシーエス(株))、宮下 猛(シーシーエス(株))、小西 淳(シーシーエス(株))
- ◆ P044 文化財用低損傷パルス駆動 LED 照明
高橋茂信(シーシーエス(株))、○八木一乃大(シーシーエス(株))、鹿野雄一(シーシーエス(株))、石川典夫(シーシーエス(株))
- ◆ P045 博物館における包括的保存システムの構築に関する研究(その5)
○神庭信幸(東京国立博物館)、和田 浩(東京国立博物館)、土屋裕子(東京国立博物館)、荒木臣紀(東京国立博物館)、佐藤香子(東京国立博物館)
- ◆ P046 Study on analysis of poisonous gas by deterioration of taxidermied specimen
○Dai Ill Kang (Korea National university of Cultural Heritage)、Hee Jung Lee (Korea National university of Cultural Heritage)
- ◆ P047 Degradation assessment after conservation treatment of leather objects on environment al factors
○Dai Ill Kang (Korea National university of Cultural Heritage)
Na Yeon Baek (Korea National university of Cultural Heritage)
- ◆ P048 市民ボランティアによる文化財 IPM の発信についてー九州国立博物館環境部会の取り組みー
○本田光子(九州国立博物館)、上野知彦(九州国立博物館)、秋山純子(九州国立博物館)、山崎久美子(九州国立博物館)、吉里忠良(九州国立博物館環境ボランティア)、鳥飼澄子(九州国立博物館環境ボランティア)
- ◆ P049 博物館での飲食を伴う場所における IPM 活動について
○秋山純子(九州国立博物館)、山崎久美子(九州国立博物館)、今津節生(九州国立博物館)、本田光子(九州国立博物館)、新原茂春(NPO 法人ミュージアム IPM サポートセンター)、川越和四(イカリ消毒(株))、櫻井伸一(イカリ消毒(株))
- ◆ P050 東京国立博物館所蔵コプト裂ープレッシャーマウント法等による安全な固定・保管・公開ー
○土屋裕子(東京国立博物館)、神庭信幸(東京国立博物館)、米倉乙世(東京国立博物館)、小山弓弦葉(東京国立博物館)、石井美恵(東京文化財研究所)、山崎真紀子(染織品保存)、星 肖江((株)テラ)

- ◆ P051 特別展示場の湿度環境安定化を目指した運用方法の考案過程について
○荒木臣紀(東京国立博物館)、和田 浩(東京国立博物館)、神庭信幸(東京国立博物館)
- ◆ P052 澤田美喜記念館における保存管理体制の確立に向けて—収蔵品に関する調査報告—
○広瀬真紀(学習院大学)、阿久津美紀(学習院大学)
- ◆ P053 新設ケースから発生する有害ガスの季節及び経年変化について
○松田隆嗣(福島県立博物館)、杉崎佐保恵(福島県立博物館)、山崎正彦(光明理化学工業(株))
- ◆ P054 キトラ古墳石室における微生物制御：石室から分離された微生物の紫外線(UV)耐性試験結果について
○木川りか(東京文化財研究所)、喜友名朝彦((株) テクノスルガ・ラボ千葉分室)、立里 臨((株) テクノスルガ・ラボ)、佐藤嘉則(東京文化財研究所)、杉山純多((株) テクノスルガ・ラボ)
- ◆ P055 臼杵市・下藤キリシタン墓地における遺構の凍結防止策
○朽津信明(東京文化財研究所)、森井順之(東京文化財研究所)、伊藤広宣((株) 文化財保存活用研究所)、山路しのぶ((株) 文化財保存活用研究所)、神田高士(臼杵市教育委員会)
- ◆ P056 石造文化財における擬石材を用いた塩類風化防止処置
○山路康弘(別府市立鶴見台中学校)、川野邊渉(東京文化財研究所)、森井順之(東京文化財研究所)
- ◆ P057 X線CTスキャナによる初音の調度と金銀の香道具の構造調査
小池富雄(徳川美術館)、川畑憲子(九州国立博物館)、○鳥越俊行(九州国立博物館)
- ◆ P058 平成の大津波で流失した瀬沢貝塚出土豎櫛の塗膜下地調整技法
○武田昭子(昭和女子大学)、赤沼英男(岩手県立博物館)、熊谷 賢(陸前高田市立博物館)、土谷信高(岩手大学)
- ◆ P059 文化財用X線CTスキャナによる福岡県八女市個人蔵奪衣婆坐像の研究
○加藤和歳(九州歴史資料館)、井形 進(九州歴史資料館)、小林 啓(九州歴史資料館)
- ◆ P060 X線CTによる「アイヌ文化伝世の漆椀」の内部構造調査
○小林幸雄(北海道開拓記念館)、杉山智昭(北海道開拓記念館)、今津節生(九州国立博物館)、鳥越俊行(九州国立博物館)
- ◆ P061 発掘調査・整理における土器接合復元の現場報告と改善例報告
(1) 土器接合に使われる接着剤の比較と改善
○岩月真由子(岩月保存修復研究所)
- ◆ P062 上淀廃寺塑造丈六三尊仏像の復元 断片レプリカを用いた復元模型の制作
○横川耕介(愛知仏像修復工房)、森本康永((株) 地域みらい)、岩田文章(米子市教育委員会)
- ◆ P063 甲冑金物の技法研究
○相原健作(鍛金家)
- ◆ P064 法輪寺毘沙門天立像の修復における自然科学的調査報告とその意義
○岡田 靖(東北芸術工科大学)、横川耕介(愛知仏像修復工房)、大山幹成(東北大学学術資源研究公開センター植物園)、門叶冬樹(山形大学高感度加速器質量分析センター)、加藤和浩(山形大学高感度加速器質量分析センター)、庵下 稔(山形大学高感度加速器質量分析センター)、神田每実(愛知県立芸術大学)、栗田美由紀(奈良大学)
- ◆ P065 近代木製家具の修復技法及び材料に関する調査研究
○中山俊介(東京文化財研究所)、山下好彦(東京文化財研究所)、池田芳妃(東京文化財研究所)、中野裕子(博物館明治村)

- ◆ P066 仕様の異なる黒色の複層漆膜に関する光劣化現象の解析
○神谷嘉美(東京都立産業技術研究センター)、西村信司(東京都立産業技術研究センター)

第2日目 7月21日(日)

- ◇ P067 東京国立近代美術館蔵 菱田春草《賢首菩薩》の顔料分析調査報告
○荒井 経(東京藝術大学)、小川絢子(東京国立博物館)、平諭一郎(東京藝術大学)、
京都絵美(東京藝術大学)
- ◇ P068 手彫切手の印刷インキに使用された赤色有機顔料の分析と同定
○荒木修喜(名古屋工業大学大学院)、柴田智大(名古屋工業大学大学院)、平下恒久(名古屋工業大学大学院)
- ◇ P069 非破壊分析法を用いた幕末から明治期に制作された浮世絵版画の色材調査—赤,紫色色材を中心に—
○大和あすか(東北芸術工科大学)、土屋明日香(広重美術館)、米村祥央(東北芸術工科大学)
- ◇ P070 江戸時代貨幣『豆板銀』に用いられた色揚げ処理技法の復元的研究
○田口智子(東京藝術大学大学院)、大野直志(東京藝術大学大学院)、桐野文良(東京藝術大学大学院)
- ◇ P071 桃山時代に製作された永楽銀銭の製造技法
○桐野文良(東京藝術大学)、大野直志(東京藝術大学)、根津暁充((株)リガク)、横山亮一((株)リガク)
- ◇ P072 津市所蔵「旧岩田橋擬宝珠」に関する調査報告
○尾崎 誠((財)元興寺文化財研究所)、川本耕三((財)元興寺文化財研究所)、熊崎 司(津市教育委員会)、
采翠真澄(中部大学)、杉本和江(古美術修理すぎもと)
- ◇ P073 金属配合比から見る「剣鉾」の製作技法の研究—祭礼形態におよぼす影響について—
○伊達仁美(京都造形芸術大学)、溝辺悠介(京都造形芸術大学大学院)、
川本耕三((財)元興寺文化財研究所)、山田卓司((財)元興寺文化財研究所)、
村上忠善(京都市文化財保護課)、福持昌之(京都市文化財保護課)
- ◇ P074 女子美術大学美術館が所蔵する上代・中世染織品に関する研究
○深津裕子(多摩美術大学)
- ◇ P075 プルシアンブルーが使用された江戸時代後期の友禅染小袖に関する科学的分析と染織史的位置づけ
○深津裕子(多摩美術大学)、早川泰弘(東京文化財研究所)
- ◇ P076 明治期の絹黒染(京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵染織品の調査9)
○佐々木良子(京都工芸繊維大学)、生谷吉男(京都工芸繊維大学)、梶原俊明(京都工芸繊維大学)、
萩原理一(京都工芸繊維大学)、藤井健三(京都工芸繊維大学)、並木誠士(京都工芸繊維大学)、
浦川 宏(京都工芸繊維大学)、森本一成(京都工芸繊維大学)、佐々木健(京都工芸繊維大学)
- ◇ P077 19世紀にもたらされたクロムイエロー染色技法を用いて染めた天然繊維の断面観察
○杉岡奈穂子(東京藝術大学)、北田正弘(東京藝術大学)
- ◇ P078 動物剥製標本におけるヒ素化合物の残留について
○間渕 創(三重県立博物館・東京文化財研究所)、吉田直人(東京文化財研究所)、
木川りか(東京文化財研究所)、佐野千絵(東京文化財研究所)
- ◇ P079 敦煌莫高窟第285窟の東壁における壁画の材料と技法について
○犬塚将英(東京文化財研究所)、高林弘実(京都市立芸術大学)、渡邊真樹子(東京文化財研究所)、
皿井 舞(東京文化財研究所)

- ◇ P080 非接触蛍光スペクトル測定により得られた敦煌莫高窟第285窟壁画の色材に関する知見
○渡辺真樹子(東京文化財研究所)、吉田直人(東京文化財研究所)、皿井 舞(東京文化財研究所)、高林弘実(京都市立芸術大学)
- ◇ P081 敦煌莫高窟第285窟壁画の保存状態 III 一天井壁画における劣化の定量的解析—
○高林弘実(京都市立芸術大学)、渡辺真樹子(東京文化財研究所)、犬塚将英(東京文化財研究所)、津村宏臣(同志社大学)、丁 淑君(敦煌研究院)、毛 嘉民(敦煌研究院)、孫 勝利(敦煌研究院)、岡田 健(東京文化財研究所)
- ◇ P082 絵金 芝居絵屏風・絵馬の光学的調査②
○松島朝秀(高知大学)、後藤雅子(高知県立美術館)、横田 恵(絵金蔵)、福原僚子(絵金蔵)
- ◇ P083 明治期の七宝技法に関する研究—帝室技芸員・二人のナミカワの七宝釉薬を中心に
○武藤夕佳里(京都造形芸術大学)、新免歳靖(東京文化財研究所)、佐藤香子(東京国立博物館)、小川絢子(東京国立博物館)、三浦麻衣子(国文学研究所)、村上夏希(東京学芸大学大学院)、長沼 暦(並河靖之七宝記念館)、二宮修治(東京学芸大学)
- ◇ P084 江戸時代に製作された「滝見之図」に用いられた材料の分析
○芳賀文絵(東京藝術大学大学院)
- ◇ P085 藤田嗣治作品に用いられた黒い色材調査
○大川美香((株) 絵画保存研究所)、小谷野匡子((株) 絵画保存研究所)、福田 誠((株) 絵画保存研究所)、ルイ松岡秋子(絵画修復家)、平山美知子(公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館)
- ◇ P086 高橋源吉の油彩画に使用された制作材料・技法について
—山形市所蔵 高橋源吉作「宮城縣穴瀑之紅葉」「天華岩」「藤花滝」を対象に—
○大場詩野子(東北芸術工科大学)、小林俊介(山形大学)、森 直義(東北芸術工科大学)
- ◇ P087 モノクローム資料写真の明暗をもとにしたオリジナルの彩色直接推定の可能性
○吉田直人(東京文化財研究所)、鴈野佳世子(日本学術振興会特別研究員)
- ◇ P088 赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究1
○秋山純子(九州国立博物館)、森實久美子(九州国立博物館)
- ◇ P089 膠製造における諸条件と製品の性状の関連(4)
○宇高健太郎(東京藝術大学)
- ◇ P090 煤製造における諸条件と製品の性状の関連
○宇高健太郎(東京藝術大学)
- ◇ P091 達身寺仏像群の三次元計測調査
○岡本篤志(大手前大学史学研究所)、田川新一朗(箭上文化財修復)、杉崎貴英(京都造形芸術大学)
- ◇ P092 大学美術館の収蔵作品における3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)技術を応用した復元研究の展開
○深津裕子(多摩美術大学)、内山博子(女子美術大学)、板橋さやか(CGデザイナー)、小磯かおり(女子美術大学美術館)、須藤良子(女子美術大学美術館)
- ◇ P093 撤去された中州島の閉鎖公図等を用いた地誌の研究と保存
○馬場慎一(太栄コンサルタンツ(株))
- ◇ P094 壁画保存修復における『漆喰層剥離箇所部分固定法』の有効性
○前川佳文(東京文化財研究所)

- ◇ P095 壁画修復処置に用いる接着材料への酵素の影響
○貴田啓子(東京文化財研究所)、早川典子(東京文化財研究所)、佐藤嘉則(東京文化財研究所)、大河原典子(東京文化財研究所)、和田朋子(東京文化財研究所)、五十嵐圭日子(東京大学大学院)、木川りか(東京文化財研究所)、川野邊渉(東京文化財研究所)
- ◇ P096 透明なウレタン系樹脂を用いた赤間石製案内柱の表面保護対策
高木弘敬((株) エムピーエス)、松岡弘晃((株) エムピーエス)、
○小沼恵太郎(パシフィックコンサルタンツ(株))
- ◇ P097 やぐら壁面の塩分濃度に関する研究(2)
○星野玲子(鶴見大学)、山崎正彦(光明理化学工業(株))
- ◇ P098 旧真田山陸軍墓地和泉砂岩製墓石の保存—市民ボランティアによる施工方法の確立—
○伊達仁美(京都造形芸術大学)、永田綾奈(京都造形芸術大学大学院)、
植田直見((財)元興寺文化財研究所)、雨森久晃((財)元興寺文化財研究所)
- ◇ P099 粘土系目地『がんぜき』を用いた修理の一例
○池田朋生(熊本県立装飾古墳館)、坂口圭太郎(熊本県立装飾古墳館)、高野信子(上天草市教育委員会)、
徳弘恵吾(上天草市教育委員会)、朽津信明(東京文化財研究所)
- ◇ P100 ガラスのカラーフィルによる欠損箇所の充填テクニックの事例—古代ガラスリュトナー
○佐野智恵子(工房いにしへ)、成田英里(工房いにしへ)
- ◇ P101 桃山文化期の欄間彩色の保存と資料活用に関する基礎的調査
○北野信彦(東京文化財研究所)、吉田直人(東京文化財研究所)、
運天弘樹(凸版印刷総合研究所・基礎基盤技術研究所)、篠塚慶介(宮城県産業技術総合センター)、
伊奈 仁(文化財建造物保存技術協会)、酒巻仁一(文化財建造物保存技術協会)
- ◇ P102 迎賓館赤坂離宮天井絵画修復事業に関わる損傷と劣化原因の解明(2)
○木島隆康(東京藝術大学)、佐藤一郎(東京藝術大学)、桐野文良(東京藝術大学)、上野勝久(東京藝術大学)、
山梨絵美子(東京文化財研究所)、林 洋子(京都造形芸術大学)、金 鍾旭(東京藝術大学)、
鈴鴨富士子(東京藝術大学)、西川竜司(東京藝術大学)、平賀あまな(迎賓館上席政策調査員)
- ◇ P103 奈良市福智院地藏菩薩坐像台座にみられる彩色文様の再現模写
○池田藍子(奈良県教育委員会)、大山明彦(奈良教育大学)、深谷 聡(奈良県立美術館)
- ◇ P104 —須賀ハリストス正教会所蔵—
山下りんイコン《機密の晚餐》,《生神女福音図及び四福音記者》修復事例
○木島隆康(東京藝術大学)、金 鍾旭(東京藝術大学)、鈴鴨富士子(東京藝術大学)、
田中智恵子(修復研究所21)、宮田順一(修復研究所21)
- ◇ P105 明治から大正期の油彩画に用いられた画布に関する考察
○加藤広樹(東京藝術大学)、木島隆康(東京藝術大学)、歌田真介(東京藝術大学)、
森田恒之(国立民族学博物館)、佐藤一郎(東京藝術大学)、桐野文良(東京藝術大学)
- ◇ P106 寺崎武男の多様な支持体を用いた絵画技法と作品の修復
○尾形 純((株) デイヴォート TokyoConservation)、大村 智(女子美術大学)、
○山野順生((株) デイヴォート TokyoConservation)、石井晴子((株) デイヴォート TokyoConservation)
- ◇ P107 戦時下に描かれた絵画 Voll.4寺崎武男の描いた戦争絵画の周辺と調査
○尾形 純((株) デイヴォート TokyoConservation)、大村 智(女子美術大学)、
○山野順生((株) デイヴォート TokyoConservation)、石井晴子((株) デイヴォート TokyoConservation)

- ◇ P108 絵画に生じる劣化生成物に関する考察—予防的修復処置について (I) —
○鈴鴨富士子 (東京藝術大学)、蔵品真理 (東京藝術大学)、秋山純子 (九州国立博物館)
- ◇ P109 油画作品移動の際の表打ちについての考察～油彩画6点の修復を通して～
古賀路子 (吉備文化財修復所)、○浅場沙帆 (東京藝術大学大学院)、池上久美、
杉原朱美 (東京藝術大学大学院)、西川竜司 (東京藝術大学大学院)、森田愛香 (国立歴史民俗博物館)、
木島隆康 (東京藝術大学)、牧野隆夫 ((有) 東北古典彫刻修復研究所)
- ◇ P110 群馬県立歴史博物館保管、(宗) 満福寺所蔵「達磨図」の描画技法
○武田恵理 (文化財保存修復スタジオ)、浅野ひとみ (長崎純心大学)、作間美智子 (東京藝術大学)、
西川竜司 (東京藝術大学)、高林弘実 (京都市立芸術大学)
- ◇ P111 椿貞雄作《洋装せる菊子立像》の技法研究と修復
○村田芙月 (森絵画保存修復工房)
- ◇ P112 屏風の構造について修復現場から探る—朝鮮様式と日本様式の骨下地と蝶番についての比較—
○棚橋映水 (吉備国際大学)、馬場秀雄 (吉備国際大学)
- ◇ P113 膠絵における絵画技法研究—箔加工技法についての—考察—
○棚橋映水 (吉備国際大学)
- ◇ P114 「国宝 平等院鳳凰堂内 西面扉絵 日想観」の下地層について
神居文彰 (宗教法人平等院)、早川泰弘 (東京文化財研究所)、○荒木恵信 (金沢美術工芸大学)
- ◇ P115 花車図屏風 (東京国立博物館蔵) の修理事例—修理におけるクリーニング効果に着目して
○平河智恵 (東京国立博物館)、鈴木晴彦 (東京国立博物館)、米倉乙世 (東京国立博物館)、
沖本明子 (国宝修理装潢師連盟)、神庭信幸 (東京国立博物館)、土屋裕子 (東京国立博物館)
- ◇ P116 書籍保存におけるオリジナリティを考える
～東北大学附属図書館所蔵貴重書に対する保存修復事例から～
○飯島正行 ((株) Conservation for Identity)、浅沼真寿美 ((株) Conservation for Identity)、
鈴木英治 (吉備国際大学)、小川知幸 (東北大学学術資源研究公開センター)、田中朱美 (東北大学附属図書館)
- ◇ P117 裏打ち紙除去に使用した酵素の除去確認方法について
○楠 京子 (東京文化財研究所)、山田祐子 (東京文化財研究所)、君嶋隆幸 ((株) 修護)、
加藤雅人 (東京文化財研究所)
- ◇ P118 古代・中世の典籍類に使用された大豆糊の製法と物性について
大橋有佳 (京都造形芸術大学)、○大林賢太郎 (京都造形芸術大学)、山田卓司 ((財) 元興寺文化財研究所)
- ◇ P119 剥落止めに用いる膠の処理方法について
早川典子 (東京文化財研究所)、富沢千砂子 (六法美術)、岡 泰央 ((株) 岡墨光堂)、
奈良真一 ((株) 岡墨光堂)、○小笠原具子 ((株) 岡墨光堂)
- ◇ P120 膠の溶解方法による微生物劣化の違い
○橋本麻里 (東京藝術大学大学院)、稲葉政満 (東京藝術大学)
- ◇ P121 繊維配向と抄紙技術—中韓の料紙について—
○白井麻美 (昭和女子大学大学院)、増田勝彦 (昭和女子大学)
- ◇ P122 絹本著色古典絵画の模写制作における基底材に関する研究
—在来製糸織絹をもとにした描画実験をとおして—
○森田早織 (東京藝術大学大学院)、志村 明 (勝山織物 (株) 絹織製作研究所)、
○秋本賀子 (勝山織物 (株) 絹織製作研究所)

- ◇ P123 絹本文化財の修復材料としての劣化絹の研究—電子線照射と紫外線照射の併用—
○山田祐子(東京文化財研究所)、早川典子(東京文化財研究所)、坪倉早智子(日本銀行金融研究所)、岡 泰央(国宝修理装演師連盟)、川野邊渉(東京文化財研究所)
- ◇ P124 女子美術大学美術館所蔵の陣羽織に使用されている鳥の羽の分析
○岡田宣世(女子美術大学)、藤井 幹(日本鳥類保護連盟)、須藤良子(女子美術大学美術館)、青谷徳子(女子美術大学)
- ◇ P125 名物裂を用いた表装裂の復元に関する共同研究
○鈴木晴彦(東京国立博物館)、神庭信幸(東京国立博物館)、澤田むつ代(東京国立博物館)、小山弓弦葉(東京国立博物館)、米倉乙世(東京国立博物館)、平河智恵(東京国立博物館)、鳥原雄治((株)鳥原商店)、岡 興造(国宝修理装演師連盟)、坂田雅之(国宝修理装演師連盟)、加藤章男(国宝修理装演師連盟)、半田昌規(国宝修理装演師連盟)、大菅 直(国宝修理装演師連盟)、沖本明子(国宝修理装演師連盟)、廣瀬賢治(廣信織物(有))、小笠原小枝(東京国立博物館)
- ◇ P126 昭和時代初期の金沢金箔の形状に関する研究
金森賢悟(金沢大学大学院)、大角富康(金沢大学大学院)、○北川和夫(金箔技術振興研究所)
- ◇ P127 国外で製造された金箔の形状調査
○大角富康(金沢大学大学院)、金森賢悟(金沢大学大学院)、北川和夫(金箔技術振興研究所)
- ◇ P128 陶磁器修復材料の紫外線暴露試験：合成樹脂補填剤及び修復方法による色安定性
○李 壘(東京藝術大学)、服部哲則(東京学芸大学)
- ◇ P129 春日大社所蔵「春日社寺曼荼羅」に関する研究—トレース図作成を通して—
○鴈野佳世子(日本学術振興会特別研究員)
- ◇ P130 地域に所在する絵馬の応急的処置に関する一考察
○大山龍頭(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター)

第35回大会特別ポスターセッション

- 特1 東日本大震災における東北歴史博物館の活動
東北歴史博物館 及川 規
- 特2 東日本大震災における宮城県の活動
東北歴史博物館 小谷竜介
- 特3 東日本大震災における仙台市博物館の活動
仙台市博物館 菅野正道
- 特4 東日本大震災における宮城歴史資料保全ネットワークの活動
宮城歴史資料保全ネットワーク
- 特5 文化財保存修復学会における東日本大震災の支援活動2012
文化財保存修復学会災害対策調査部会

文化財保存修復学会第35回大会プログラム作成委員会

委員長：岡田 健(東京文化財研究所)
副委員長：早川泰弘(東京文化財研究所)
委員：今津節生(九州国立博物館)／木島隆康(東京藝術大学)／斎藤 努(国立歴史民俗博物館)／伊達仁美(京都造形芸術大学)／日高真吾(国立民族学博物館)／松井敏也(筑波大学)